心揺さぶる「本物」の響き　～町内３中学校合同 芸術鑑賞会～

９月３０日、中央公民館に札幌交響楽団（札響）の皆様をお迎えし、町内３中学校合同芸術鑑賞会が開催されました。指揮者の松本宗利音さんをはじめとするプロの演奏家による壮大な生演奏を間近で体感し、会場は大きな感動に包まれました。町内の仲間が一堂に会した会場には、GD や映像とは全く異なる立体的な響きが広がり、生徒たちは一瞬でその圧倒的な迫力に引き込まれました。合間の楽器紹介では様々な音色や奏法の奥深さに魅了され、各校の代表生徒による指揮者体験では、テンポの変化にも見事に応えるプロの圧倒的な技術と表現力を肌で感じることができました。



各校代表１名が指揮者体験
名指揮者ぶりを見せた東中代表

【生徒の感想より（抜粋)】

・「単に『きれいな曲』というだけでなく、音楽が持つ強いエネルギーや優しさをより深く感じることができました。」

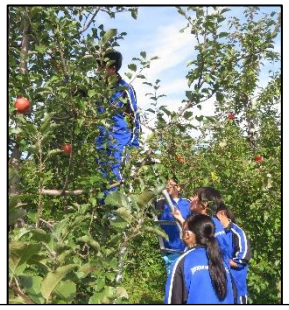
・「もう二度と聞けないかもしれないと思いながら聴いていて、あまりの美しさに心から感動しました。演奏している人たちの真剣な表情を間近で見られたことは、中学生の今しかできない、心に強く残る最高の経験になりました。」

・「プロの方々が本気で音楽を楽しんでいる姿が客席まで伝わってきました。とても素晴らしくて心が震えるような演奏で、音楽は本当に不思議で魅力に満ちたものだと改めて感じました。」

「りんご収穫・選果体験」～地域に学び、ふるさと余市への理解と愛着を深める～　２年生

１０月２０日（火)、余市町総合政策部農林水産課の皆様のご協力を得て、園芸試験場において２年生が「りんご収穫・選果体験」を実施いたしました。

当日は雨の合間の晴れ日に恵まれ、とても清々しい秋空のもとで体験を行うことができました。今回の体験は、余市の発展を支えてきた歴史あるりんご栽培の特色や工夫について理解を深めるとともに、地域の産業を支える方々の情熱やご苦労に触れることを目的として行われました。当日は、生徒たちが実際の収穫や選果作業に直接携わらせていただき、一作業一作業に込められた工夫や苦労を肌で感じることで、普段何気なく目にしている地元の農業に対する見方が変わり、地域への理解をより一層深める大変貴重な機会となりました。



【生徒の感想より（抜粋)】

・「すべてを機械任せにせず、人の目で傷の有無を確認しながら仕分けることで、農家さんが大切に育てたりんごを絶対に無駄にしない工夫をしているということにとても感動しました。」

・「収穫の際に少しへこみができたり、取る時に傷ついたりして商品にできなくなってしまうりんごが多くて驚きました。重さなどで丁寧に選果し、品質の良いりんごを出荷しようとする生産者さんたちの思いが強く感じられました。」

慎重かつ手早くリンゴの収穫をする２年生。中には利き手ではない左手も使いながら上手に収穫する生徒も。



それぞれの個性が輝き、達成感に溢れた東中祭。１・２年生は先輩の姿を見て早速「来年は〇〇したい」と意欲を見せる生徒もたくさんいました。



手を振り、ステージ発表の生徒を応援する全校生徒。会場全体が温かい雰囲気に包まれました。



各校の特色を伺い、「〇〇高校に行きたい！勉強しよう！」と進路への意識を高める頼もしい姿も見られた１・２年生向け高等学校説明会。









自分で描いた絵を何層も重ね作ったペーパーシアター

男女共同参画委員、人権擁護委員の方をお招きし、デート DV について学んだ３年生人権教室。生徒からは「束縛や言葉の暴力も DV だと知り、相手の気持ちを考えることの大切さを学んだ」などの感想が寄せられました。